

## 平成26年度事業報告

### ○概況

東日本大震災は今年で4年目を迎えたが、地域により復興の立ち遅れが見受けられる。特に、被災者は仮設施設で今なお不自由な思いを余儀なくされていることから、早期の復興が求められている。

当シルバー人材センター（以下センターと言う）は、今年度4月より消費税5%から8%にアップのため、顧客先へのお願いを事前に実施し理解を頂くよう努めた事から、業務上支障なく移行する事が出来たところである。

一方、本年度のセンター事業運営については、公益目的事業を柱とする地域密着型として、信頼と貢献を念頭に機能強化事業の一環として就業開発や会員募集に積極的に取り組んだ結果、概ね所期の目的を達成する事が出来た。

また、関連する事業の1つとしてシニアワークプログラム地域事業（ハウスクリーニング）に取り組み、高齢者等の就業支援を行った。

2つ目は、一般派遣事業3年問題の就業縮小に伴い、請負事業拡大の取り組みや福祉など家事援助サービス事業にも積極的に関わり拡大を図った。

3つ目は、本年度のテーマでもあった独自事業の充実強化と拡大のため、富ヶ丘北部町内会で活動している高齢者組織「ハナミズキ」の協力を頂き、モデル地域としての[ワンコインサービス]事業を立ち上げスタートした所であり、今後他地域にも順次拡大して行くことにしている。

センターの継続事業である子供たちの安全・安心のための巡回、見回り活動は、本年度も小学校区ごとの各会員によって年間を通して行われ、センターの地域における信頼を高めることができた。なお、これら長年の活動が認められ、26年10月には宮城県警察本部長・宮城県防犯協会連合会長連名による表彰状を授与されたところである。

災害事故に関しては、安全適正就業委員会を中心に安全面に特に注意を払われた結果、重篤事故はなく、除草班での飛石などの事故が12件中6件であった。全体では前年比6件の減少となったが、今後とも事故撲滅に向け安全面の強化に努める必要がある。

センターは公益法人として、収支相償を基本とする事業運営を行うこと、すなわち利益を出すことは許されないことから、基盤の強化と拡大を図りながらも慎重に事業を進めてきたところである。そのため、関連する法例遵守や内部統治の徹底と安全適正就業は勿論、情報公開そして個人情報等配慮しながら会員、役職員一丸となって諸施策や課題に取り組んだ。

なお、26年度の事業計画と実績及び達成率、並びに実施項目と状況については次の通り報告する。

## 1. 就業開拓提供事業

より多くの会員に就業の機会を提供するために、高齢者の知識、技能、経験を把握分析し、法令遵守を念頭におきながら、地域のニーズに対応する仕事の受注を目指すため、以下のことを実施した。

- ア. 就業開拓員によるチラシの配布ローラー作戦(個人就業・会員募集)
- イ. 就業開拓員による企業重点就業開拓(企業訪問)の実地

## 2. 普及啓発事業

地域社会に対してシルバー事業への理解と高齢者の加入促進を図るため、以下のことを実施した。

- ア. 普及啓発月間における活動
  - ・第8回「十三夜・魂のふるさとまつり」におけるPR
- イ. チラシ配布
- ウ. 会報の発行(年3回)
- エ. ホームページによる情報公開
- オ. シルバーフェアによるPR
- カ. 町広報誌に会員募集を掲載(毎月)
- キ. 第3回「とみやっこたなばたかざり」への参加

## 3. 調査研究

会員の就業率の向上、発注者に対するサービス内容の改善・充実、さらには新たな就業等の活動機会の開拓の方策を研究実施するために行っており、以下のことを実施した。

- ア. 会員への意識調査アンケートを実地
- イ. お客様満足度調査(発注者に対するアンケート調査)
- ウ. 全会員アンケートを配布

## 4. 相談事業

一般高齢者及び会員を対象に、以下のことを実施し、就業等に関する情報を提供した。

- ア. 入会説明会 毎月1回
- イ. 就業相談 随時
- ウ. 育児相談 随時
- エ. 会員対象に面談を実施 随時

## 5. 安全・適正就業の推進

品質の向上と確保を図り、事故ゼロ・クレームゼロを目指し、顧客の信頼向上に努めた。毎月1日と15日を「安全の日」と定め安全意識の高揚を図り、また各就業現場において危険予知活動を行い、事故を未然に防ぐよう努めた。

- ア. 安全・適正就業委員会の実施
- イ. 安全パトロールの実施
- ウ. 安全・適正就業推進大会の実施
- エ. 安全標語の募集及び表彰
- オ. 安全便りの発行
- カ. 適正就業の推進(派遣事業の拡大強化推進)

## 6. 会員増強の促進

事業計画の目標値をもとに、会員の加入促進を図った。

- ア. 入会説明会の実施(毎月1回)
- イ. 町広報誌への会員募集の記載
- ウ. 女性部会「ハナミズキ」研修会の開催

## 7. ワークプラザ施設整備の具体的推進

拠点施設が地域の活性化策に貢献できる施設となるよう具体的に推進した。

- ア. 富谷町と富谷町議会へワークプラザ建設要望書を提出
- イ. 施設整備調査検討委員会で調査・検討

## 8. 福祉・家事援助サービスの推進

町が推進する子育て事業や、高齢者世帯の増加が進む中、地域住民の福祉ニーズに応えられるよう、福祉家事援助サービスに対応できる会員の加入促進と、現会員スキルアップのための研修会に参加した。

- ア. 育児支援サービス
  - (ア)子育てサロン「ほっと育(す)く」の継続運営(旧給食センターへ移転)
  - (イ)一時預かり
  - (ウ)子育てスキルアップ講習会の実施(講師招聘、外部講習会)
  - (エ)「なごみ」移転継続運営
- イ. 家事援助サービス
  - (ア)高齢者への家事援助
- ウ. 「ワンコインサービス」の事業展開(地域限定で実施)

## 9. 社会参加活動の推進

「自主・自立、共働・共助」の精神を高めるためにも、ボランティアや社会参加を通して、地域社会への貢献と連携を深めた。

- ア. 子供達の安全・安心を守る巡回活動(登校、下校時)
- イ. 「十三夜・魂のふるさとまつり」へのボランティア参加
- ウ. 「シルバーの日」の公民館等の清掃作業等の実施
- エ. 商工会主催の「おもしろがら来てけさ in」に後援協力

## 10. 事業運営の効率化及び財政健全化の推進

事業運営にあたって、業務の効率的運営を図り、また公益目的基準に適合するよう財政の健全化に取り組んだ。

- ア. 不要支出の洗い出し
- イ. 消費節約の励行
- ウ. 会計基準の変更による、税理士の会計指導を実施

○平成 26 年度事業計画と事業実績、達成率

項 目	事業計画	事業実績	達成率
正 会 員	470 人	460 人	97.9%
特別会員	5 人	5 人	100.0%
賛助会員	11 人	11 人	100.0%
受注件数	1,400 件	1,523 件 (内派遣 20 件)	108.8%
受注契約金額	215,000 千円	214,482 千円	99.8%
(受託事業)	(166,310 千円)	(168,387 千円)	(101.2%)
(独自事業)	(550 千円)	(608 千円)	(110.5%)
(労働者派遣事業)	(48,140 千円)	(45,487 千円)	(94.5%)
就業延人員	43,000 人日	44,424 人日	103.3%
就 業 率	90%	95.0%	105.6%
粗 入 会 率	3.90%	3.82%	97.9%